

QUALIFYING NEWS FLASH



Round
1

予選速報

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 2011年5月15日(日) 鈴鹿サーキット

www.f-nippon.co.jp

発行人/編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Series Supporter

日人 NINKI-ICHI
人気酒造

Take Free
ご自由におとりください



被災地にビッグプレゼント! 山本尚貴 (TEAM 無限) が自身初のポールポジションを獲得!! 先輩とチャンピオンを抑えた激走。国本がルーキー唯一のQ3進出!

5月14日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦の予選が鈴鹿サーキットで行われ、No.16 山本尚貴 (TEAM 無限) が初ポールポジションを獲得した。

突然の雨にQ2は慌ただしい走行となる

Q1セッション20分間は午後1時30分にスタート。天候は晴れ、気温は24度、路面温度は30度。セッション中盤、まずトップに立ったのは塚越広大 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)。そしてチームメイトのNo.40 伊沢拓也が続く。しかし、山本が塚越のタイムをコンマ4秒ほど上回る1分41秒073を叩き出してトップに。さらに小暮卓史 (NAKAJIMA RACING) が、塚越を上回り2番手に浮上。王者・No.1 J.P.オリベイラ (TEAM IMPUL) も3番手に滑り込んだ。一方、このセッションで思うようにタイムを伸ばせず、敗退したのは、No.8 石浦宏明 (Team KYGNUS SUNOCO)、No.37 中嶋一貴 (PETRONAS TEAM TOM'S)、No.3 A.カルダレッリ (KONDO RACING)、No.62 嵯峨宏紀 (Le Beausset Motorsports) となった。

Q2の開始は午後2時ちょうど、時間は7分間。Q1後のインターバルに雨がパラつき始めたため、皆が早目にコースイン。そのため、コース上では渋滞も発生し、自分のリズムで走れないドライバーも出た。そんな中、真っ先にコースに入ったQ1トップの山本は、雨の影響を若干受けつつも、まずはトップに立つ。これに、オリベイラ、塚越、伊沢と続いた。ここで路面と渋滞の状況を見て、アタックを1周遅らせたのは小暮。アタックに入った小暮は、区

間最速をマークし続けて、一気に1分40秒853までタイムアップ。Q2のトップを奪っている。これに続いたのは、山本、オリベイラ、塚越、伊沢、No.2 平手晃平 (TEAM IMPUL) ら。一方、Q3進出を逃したのは、No.7 大嶋和也 (Team LeMans)、No.10 小林崇志 (HP REAL RACING)、No.31 中嶋大祐 (NAKAJIMA RACING)、No.18 A.インペラトリー (SGC by KCMG) という結果になった。



逆転のタイムアタックに失敗した小暮

10分間のインターバル後、ポールポジションを決定する7分間のQ3が開始。ぱらついた雨も上がる。開始からわずか30秒というところで、まずNo.37 A.ロッセラー (PETRONAS TEAM TOM'S) がコース

イン。その30秒後には小暮と山本、オリベイラ、平手。さらに開始から2分というところで国本、その30秒後に伊沢と塚越がコースへと入って行った。

ここでアウトラップを終え、すぐにタイムアタックに入ったのは、山本とオリベイラ、平手。さらに伊沢と塚越も1周目からアタックに入った。最初にアタックを終え、コントロールラインを切った山本は、ここで1分40秒470と、それまでの自己ベストタイムを一気に更新してトップに立つ。オリベイラと平手はこれに及ばず。続く伊沢と塚越も、山本のタイムを上回ることではできなかった。一方、このQ3でも、アタックのタイミングを1周遅らせていたのは、小暮。小暮はアタックに入ると、セクター1で最速タイムをマーク。しかし、クルマのバランス的にアンダーステアが強過ぎたという小暮は、デグナーの2つ目とヘアピンでミスしてしまう。後半は再び持ち直したが、コントロールラインを切ったそのタイムは1分40秒827と、山本にコンマ3秒あまり及ばなかった。

これで山本にとっても、TEAM無限にとっても嬉しい初ポール。ピットに戻った山本は、全身で喜びを表現。山本の地元は震災被害も少なかった栃木県。予選直後のインタビューでは被災地や被災者へのメッセージに加え、大きな被害を受けながらエンジン開発を続けてくれたホンダの栃木研究所への感謝の言葉も聞かれた。

山本以下、ホンダエンジン勢がトップ3を独占。ディフェンディング・チャンピオンのオリベイラは4番手に留まる。また、No.33 国本雄資 (Project μ/cerumo-INGING) が、ルーキー最上位の予選8番手から明日のスタートを切るようになった。



ホントうれしいです。水、木曜のテストは、ウェットでもクルマの調子は非常に良かったし、予選日のフリー走行ではクルマのバランスも良く、Q3まで残れるかというより、ポールポジション争いができる位置にいるんじゃないかという自信がありました。ボードには16番が一番上にありましたが、無線で何も言ってもらえなかったのでダメかな、と思ったんです。アンドレ(・ロツテラー)選手が最後にアタックして、「決まったよ、おめでとう」と言ってもらえたのは、ピットに戻ってきたとき。ポールポジションはFCJのもてぎ(2007年第5戦)以来。正直こんなに重みがあるというか、こんなにすばらしい、気分のいいものだとは思わなかったです。小暮(卓史)選手に「ポールっていいよね」と言葉を掛けてもらい、ほんとうにその通りだと思いましたね。

ポールポジション争いができる自信がありました

Open fire! This is the battle of determination

待望の開幕戦の決勝レース! 新鋭の輝き、ベテランの旨み



納得いく走りができませんでした

エンジニアがいいクルマに仕上げてくださいました。Q1でいいところにいけるといって感触を得て、Q2はクルマのバランスもよかったです。Q3もいけると思ったら、路面がよくなってリアのスタビリティが高くなり、思ったラインを取れなくて…。納得いく走り

ができませんでした。山本選手とはギリギリのレベルで競い合いたったんですが…。Q3でセッティングを変えなかった僕の判断ミスでもありますね。決勝はホンダ勢が前にいるので、なんかGTみたい(笑)。いいレースがしたいですね。



気負わずに自分のレースをするだけです

移籍後の初レースなので、余計なことを考えずチームが用意したプログラムを順番どおりにやろうと、意気込まずにやりました。Q1とQ3(の結果)は、今の現状なんだろうという感じです。クルマにはもっと可能性があるんで、もう少し引き出した

かったという思いもあります。環境が大幅に変わった中、伊沢さんの存在がすごく大きい。データを共有するなどプラスに働いています。2台で早くトップ争いできるようにすれば…。決勝は気楽にというか、気負わずに自分のレースをするだけです。

Starting Grid Race start: 13:45

P.P.	 16 HONDA HR10E 山本 尚貴 TEAM 無限 Q1: 1'41.073 / Q2: 1'41.273 / Q3: 1'40.470	3	 41 HONDA HR10E 塚越 広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Q1: 1'41.426 / Q2: 1'41.498 / Q3: 1'40.876	5	 40 HONDA HR10E 伊沢 拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Q1: 1'41.566 / Q2: 1'41.516 / Q3: 1'40.924	7	 7 TOYOTA RV8K 平手 晃平 TEAM IMPUL Q1: 1'42.033 / Q2: 1'41.712 / Q3: 1'41.393	9	
	2	 32 HONDA HR10E 小暮 卓史 NAKAJIMA RACING Q1: 1'41.135 / Q2: 1'40.853 / Q3: 1'40.827	4	 1 TOYOTA RV8K ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL Q1: 1'41.326 / Q2: 1'41.386 / Q3: 1'40.924	6	 36 TOYOTA RV8K アンドレ・ロツテラー PETRONAS TEAM TOM'S Q1: 1'41.596 / Q2: 1'41.934 / Q3: 1'41.221	8	 33 TOYOTA RV8K 国本 雄資 Project μ / cerum Q1: 1'42.040 / Q2: 1'41.393	

スタートでの山本 vs. 小暮に注目! 戦略巧者のNAKAJIMA RACINGの動向も見逃せない。

今日のレースで、まず注目されるのはスタート。初ポールの山本尚貴は、緊張することなくホールショットを奪えるのか?あるいは2番手スタートの小暮卓史が、1コーナーまでに前に出るのか。もちろん2列目の塚越広大やJ.P.デ・オリベイラ、3列目の伊沢拓也やアンドレ・ロッターも、虎視眈々とポジションアップを狙っている。中でも、その動きに注目されるのは、昨日の予選を不本意な結果で終えたオリベイラとロッター。この2人は、過去のレースを見ても、スタートには定評があるからだ。

一方、レースの戦略もチーム色が出るポイントと

なる。今回のレースは220km。周回数で言うと38周で行なわれるが、これは満タンで走り切れるかどうかという微妙な距離。また、今回はタイヤ交換が義務付け。しかも、4本のタイヤを同時に交換しなければいけないというルールがある。軽いタンクでスタートしてマージンを稼ぎ、給油とタイヤ交換の両方を行うのか。あるいは、ピット作業の時間短縮を目指して、タイヤ交換のみを行うのか。ここで、その作戦が注目されるのは、NAKAJIMA RACING。彼らは、昨年の最終戦でも、唯一給油する作戦を選択しているからだ。これに対して、



昨年同チームに所属していた山本は、どんな選択をするのか。この点も見逃せないと言っているだろう。

タイムスケジュール(決勝日)

8:00	8:30	JSB1000ウォームアップ走行
8:45	9:15	Formula NIPPONフリー走行
9:50		Formula3 第2戦 決勝(17周)
10:40	11:20	ピットウォーク
12:00		JSB1000 決勝(15周)
13:45		Formula NIPPON 決勝(38周)
15:45		FCJ 第4戦 決勝(17周)
17:00		サーキットクルージング(2輪体験走行)

Weather

本日の天気予報(鈴鹿サーキット) Yahoo!天気情報
2011年5月14日 18時30分発表

時間	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00
天気					
℃	17	21	21	20	16

ブリヂストン、新スペックタイヤを投入 全チーム、ノーデータの戦いの行方は?!

今季、ブリヂストンでは新スペックタイヤをリリース。だが3月11日、鈴鹿で公式テストが行われていたときに大地震が発生。以後テストもないまま開幕



戦を迎えた。その直前のテストは2日間が雨、ドライでの走行は

急ぎ設けられた金曜日のテストと土曜日のセッションのみという僅かな時間に留まった。

「去年に比べ、ゴムをしっかり目にしてどのサーキットも全部対応できるようにするのが新しいタイヤの狙い。どこでもパフォーマンスが出せるよう作ります」とは、ブリヂストンのタイヤ開発第2本部フェロー、浜島裕英氏。「硬くなったという感じは、ドライバー全員が持っているようです。このしっかり感

はクルマのダウンフォースが効いているといい方向に動き、逆に少ないところでは硬く感じるという声が多かった」とのこと。上位陣のラップタイムが非常に接近したことを受け、「いい仕上がりでは」と手応えを得た様子。また、ベテラン小暮は「フィジカル的に乗りやすい」と硬くなったタイヤのメリットを挙げた。鈴鹿のテストで最終チェックを行う予定だったため、当然ロングランのデータはどのチームも持ち合わせてはいない。浜島氏も「レースを戦う上で



キーポイントにもなるだろうし、明日はベテランと新人が交じり合っ、おもしろいレース展開になるのでは」と期待を寄せている。

nation who the fastest in this nation is.
、そしてフレッシュな走り。SUZUKAはきっと何かが起こる!!



4th No. 1 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL

今日僕たちにできるベストは尽くせた
クルマはそれほど悪くなかったし、Q3でのアタック自体も悪くなかった。これでフロントロウには十分行けるって感じだったんだよね。でも、そうじゃなかった。ただ、今日僕たちにできるベストは尽くせたと思う。トップのクルマとはコンマ5秒の差はちょっ

と大き過ぎるよね。どこで僕らがタイムを失っているのか、今の段階ではまだ何とも言えないけど。決勝レースでは、まずスタートで1台か2台はオーバーテイクしたい。あとは作戦も考えないと。あまり選択肢は多くないんだけどね。



5th No. 40 伊沢拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING

塚越選手と2台揃って表彰台に上がりたい
みんなパーフェクトじゃないアタックで多少のミスもあつただろうけど、2位以下は僅差でしたね。でも僕としてはポジティブに考えて、このコンマ1秒の戦いに戻ってこれたというほうが大きい。だからこそ、この差がデカくて悔しい。オリベイラ選手と同タ

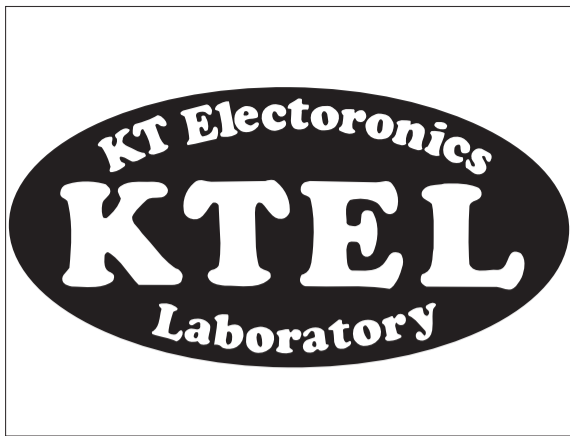
イムだし。コンマ1秒差の塚越選手とも、ロガーを見比べても「どこが!?!」っていう感じですよ。まあ決勝はまだ違う戦いになると思うので、そこでレースをやれるという楽しさを感じながら、塚越選手と表彰台に上がるレースがしたいですね。

Team Pit

1	2	*	*	36	37	*	*	32	31	*	*	*	*	40	41	*	*	8	7	*	*	*	10	*	16	*	*	33	*	*	18	*	3	*	*	*	*	62	
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44

◀ 1st Corner Pit Road

 7 TOYOTA RV8K 大嶋 和也 Team LeMans Q1: 1'41.907 / Q2: 1'42.009	 31 HONDA HR10E 中嶋 大祐 NAKAJIMA RACING Q1: 1'41.847 / Q2: 1'42.442	 8 TOYOTA RV8K 石浦 宏明 Team KYGNUS SUNOCO Q1: 1'42.184	 3 TOYOTA RV8K アンドレア・カルダレッリ KONDO RACING Q1: 1'42.628
 10 HONDA HR10E 小林 崇志 HP REAL RACING Q1: 1'42.006 / Q2: 1'42.170	 18 TOYOTA RV8K アレクサンドレ・インペラトリー SGC by KCMG Q1: 1'42.115 / Q2: 1'42.509	 37 TOYOTA RV8K 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S Q1: 1'42.340	 62 TOYOTA RV8K 嵯峨 宏紀 Le Baussett Motorsports Q1: 1'43.943



Formula NIPPON '11

モータースポーツのリーディングペーパー

購読のお申し込みは
TEL 0120-026-999
FAX 0120-026-993
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:
株式会社日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 http://www.f-nippon.co.jp

Lap up Formula NIPPON!

ピットウォーク
レーシングマシンをもっと間近でみたい!マシンやレースクイーンを撮影したい!お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。
※ピットウォーク券は前売販売です。ピットウォーク券(またはピットウォークに参加可能なパス)をお持ちでない方はご参加できません。
※4月3日以降にお申し込みをいただきましたお客様のパスにつきましては、引き換え券をご送付させていただきます。レース当日、ピットウォーク専用パスにスタンド下ピットウォークチケットBOXで引き換えをお願いします。
※4月2日以前にお申し込みをいただきましたお客様につきましては、送付させていただきます。パスにてご参加いただけますが、レース当日、変更後の日にちの入ったパスへの引き換えもさせていただきます。

サーキットFM 87.0MHz.
マシンのエキゾーストで場内実況が聴き取りづらくても、携帯ラジオやFMチューナー搭載のモバイルなどがあれば、観戦ピギナーの方にもわかりやすいレース解説を楽しめたり、レース観戦のお役立ち情報を逃しません!

2010 Formula NIPPON 総集編 絶賛発売中!

フォーミュラ・ニッポン、2010年シーズンの激闘がDVD化!
最終戦前の6戦すべてで勝者が違う大激戦を制し、ドライバーズタイトルを手にしたのは...。4月の開幕戦、鈴鹿を皮切りに全7戦で繰り広げられた2010年シーズンを網羅したダイジェストに加え、20年ぶりに復活したJAF GPでのフォーミュラ・ニッポンのデッドヒートも収録。J.P.オリベira×A.ロツテラー対談や、星野一義監督ほかのスペシャルインタビューなど、コンテンツ満載で好評発売中!
お求めは、J SPORTSオンラインショップ (http://shop.jsports.co.jp/)、その他取扱店で。
定価3,980円(税込)

Formula NIPPON Fan Club 会員募集中!
Formula NIPPON Fan Club の会員になると
○CoolなFormula NIPPON スクリーンセーバをダウンロード
○Formula NIPPON QUALIFYING NEWS FLASH (予選速報)のダウンロード
○各大会ごとに会員ニュースの配信
などの特典がフォーミュラ・ニッポン公式サイトから無料で登録できます!

フォーミュラ・ニッポン 公式ウェブサイト
http://www.f-nippon.co.jp
フォーミュラ・ニッポン公式ウェブサイトもリニューアル!最新ニュースは随時更新。フォーミュラ・ニッポンのことをさらに深く理解できる特集記事や、動画など、レースウィークでなくても楽しめるコンテンツが満載です。

J SPORTS
J SPORTSでは今年もFormula NIPPONを全戦放映します。サーキットに会場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。
決勝 5/15(日) 13:30~16:00 第1戦 決勝 鈴鹿サーキット J sports 1 (ハイビジョン生放送)
決勝再放送 5/16(月) 24:00~26:30 第1戦 決勝 鈴鹿サーキット J sports 1
5/20(金) 14:00~16:30 第1戦 決勝 鈴鹿サーキット J sports 1
○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/

「中嶋親子対決実現! 2011フォーミュラ・ニッポン 全開ナビ」
6/3(金) 17:30~17:45 J sports 2 / 6/5(日) 27:45~28:00 J sports ESPN ほかに

BSフジ
決勝日の翌週金曜日(再放送は翌土曜日)にレースダイジェストを放映します。
フォーミュラ・ニッポン2011 第1戦 鈴鹿サーキット
5/20(金) 23:00~23:55 [再放送5/21(土)]
○番組ホームページ: http://www.bs-fuji.tv/top/pub/formula2011.html

GyaO! GyaO!(オンデマンド放送)
決勝終了10日後 24:00より配信します。

USTREAM USTREAMでライブ配信!
予選は無料で視聴可能、決勝のみ有料配信(税込721円)ですが、開幕戦についてはお試し価格の525円(税込)で視聴できます。
○USTREAM: Formula NIPPON / Formula 3 / Formula Challenge Japan

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイト
http://motorsports.ch/fn/index.php

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイトがリニューアル!今まで以上に皆様にご満足頂けるよう、動画などの新しいコンテンツも強化。またスマートフォン(全キャリア対応)にも対応しました。「Formula NIPPONメール」に無料登録すれば、素敵なプレゼント企画など、さらに楽しみが広がります!

*フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイト(スマートフォン版共通)は、モータースポーツ総合情報携帯サイト「モータースポーツチャンネル」内無料特設サイトとして運営しています。

2011 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	5/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	9/3,4	鈴鹿サーキット
Rd.2	6/4,5	オートポリス	Rd.6	9/24,25	スポーツランドSUGO
Rd.3	7/16,17	富士スピードウェイ	Rd.7	11/5,6	ツインリンクもてぎ
Rd.4	8/6,7	ツインリンクもてぎ	SPL	11/12,13	FUJI SPRINT CUP

2011 FCJ 第3戦決勝レポート
石井一也がポールトゥウインで初優勝を飾る

ホルのNo.11石井一也がスタートでトップに立つ。そして一気に後続を突き放しにかかった。しかし2番手のNo.8元嶋佑弥も負けじと食い下がる。残り2周でクラッシュした19号車がコース上にストップしてセーフティカーが入る。レースはSCランのまま結局終了。石井は念願の初勝利を挙げた。2位は元嶋、3位にはNo.9勝田貴元が入った。このレースのラップタイム順で第4戦のスターティンググリッドは決められ、2分04秒397を出したNo.17平峰一貴がポールポジションとなる。

FCJ第3戦決勝結果 Top10

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	11	石井一也	FTRSスカラシップFCJ	28'34.747
2	8	元嶋 佑弥	HFDPS/SRS スカラシップ/コチラR	-0.511
3	9	勝田 貴元	LUCK FTRS FCJ	-1.052
4	12	高星 明誠	NDPP FCJ	-2.148
5	10	藤谷 大幹	FTRS FCJ	-2.840
6	3	近藤 賢	NDPP Maruso FCJ	-4.302
7	4	平川 亮	FTRSクラリアンFCJ	-5.512
8	18	清原 章太	HFDPS/SRS-F/ARTA/コチラR	-6.700
9	2	山田 真之亮	HFDPS/SRS スカラシップ/コチラR	-7.572
10	15	仁木 圭之	ALT TeamNaoki&START	-8.528

周回:12周 / 天気:晴れ / コースドライ / 出走:19台

FCJ第4戦スターティンググリッド

Po	No	Driver	Machine	FL(Rd.1)
PP	17	平峰一貴	HFDPS/SRS スカラシップ/コチラR	2'04.397
2	11	石井一也	FTRSスカラシップFCJ	2'04.628
3	8	元嶋 佑弥	HFDPS/SRS スカラシップ/コチラR	2'04.844
4	9	勝田 貴元	LUCK FTRS FCJ	2'05.073
5	10	藤谷 大幹	FTRS FCJ	2'05.258
6	12	高星 明誠	NDPP FCJ	2'05.268
7	3	近藤 賢	NDPP Maruso FCJ	2'05.330
8	4	平川 亮	FTRSクラリアンFCJ	2'05.752
9	8	清原 章太	HFDPS/SRS-F/ARTA/コチラR	2'05.895
10	15	仁木 圭之	ALT TeamNaoki&START	2'05.971
11	19	松崎 俊佑	FTRS Koffice FCJ	2'05.983
12	2	山田 真之亮	HFDPS/SRS スカラシップ/コチラR	2'05.996
13	16	朱 戴維	NDPP FCJ	2'06.164
14	1	川端 伸太郎	FTRSスカラシップFCJ	2'06.361
15	7	小河 諒	宝華RacingwithDUNLOP	2'06.374
16	14	山部 貴則	ウインズがレゾFCJ	2'06.393
17	13	アストチームSBT-FC106	アストチームSBT-FC106	2'06.862
18	6	岩月 邦博	明産産業コインランドリー-602PTG	2'06.979
19	5	周藤 康平	ドリムマックスFCJ	2'07.358

※第3戦ファステストラップ、非公式のものですよ

Support races qualifying result (top10)
全日本フォーミュラ3選手権 第1戦 決勝結果

Po	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	5	C	山内 英輝	PLANEX/ハシマ F308	23'20.135
2	1	C	蒲生 尚弥	PETRONAS TOM'S F308	- 5.180
3	36	C	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F308	- 13.867
4	8	N	野尻 智紀	HFDP RACING F307	-25.821
5	20	N	Gary Thompson	SGC by KCMG	-26.929
6	22	N	佐々木 大樹	NDPP RACING	-28.311
7	19	C	西本 直樹	SGC by KCMG	-28.636
8	12	C	安田 裕信	ThreeBond	-30.647
9	37	N	中山 雄一	TDP SPIRIT F307	-35.702
10	7	N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	-40.343

周回:12周 / 天気:晴れ / コースドライ / 出走:12台

JSB1000 第1戦 予選レポート
大接戦を制し秋吉耕佑がポールポジションを獲得

公式予選はQ1、Q2、Q3で行われるノックアウト方式で、Q3はまさに精鋭たちの戦いとなった。特に高橋巧 (MuSASHIRT ハルクプロ/ホンダCBR1000RR)、秋吉耕佑 (F.C.C.TSR Honda/ホンダCBR1000RR)、伊藤真一 (F.C.C.TSR Honda/ホンダCBR1000RR)、加賀山就臣 (Team KAGAYAMA/スズキGSX-R1000)は激しくPPを争う。これを制したのは驚異的な走りを見せた秋吉で2分7秒121。2番手は加賀山で2分7秒134。3番手は2分7秒213の高橋、4番手は2分7秒286の伊藤。ここまですべて0.2秒以内と上位は大接戦だった。決勝レースは12時にスタートする。

JSB1000 予選結果 Top10

Po	No	Rider	Machine	Time/Gap
1	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda/ホンダ	2'07.121
2	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA/スズキ	2'07.134
3	634	高橋 巧	MuSASHIRT/ハルクプロ/ホンダ	2'07.213
4	5	伊藤 真一	F.C.C.TSR Honda/ホンダ	2'07.286
5	21	中須賀 亮行	YSP Racing Team with TRC/ヤマハ	2'07.738
6	02	岸沢 太麻樹	エヴァRT3号機トリックスター-FRTR/カワサキ	2'09.744
7	54	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム/ホンダ	2'09.967
8	75	大崎 誠之	ウッドストックレーシングチーム/カワサキ	2'10.126
9	8	武田 雄一	Taira Racing/ヤマハ	2'10.352
10	01	出口 修	エヴァRT3号機トリックスター-FRTR/カワサキ	2'10.627

天気:晴れ / コースドライ / 出走:41台

AUTOPOLIS SUPER 2&4 RACE 2011
九州初! 2輪&4輪BIGレースイベント同時開催

2011 MFJ All Japan Road Race ST600 Round 2
2011 JAPANESE CHAMPIONSHIP Formula NIPPON Round 2

SUPER 2&4 RACE

in AUTOPOLIS
6.4 sat - 6.5 sun

2011 全日本ロードレース選手権 第2戦 ST600・2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第2戦
併催:ホンダ エキサイトンナップ ワンメイクレース2011 シビック インターナショナルシリーズ 第1戦

詳細は www.autopolis.jp/